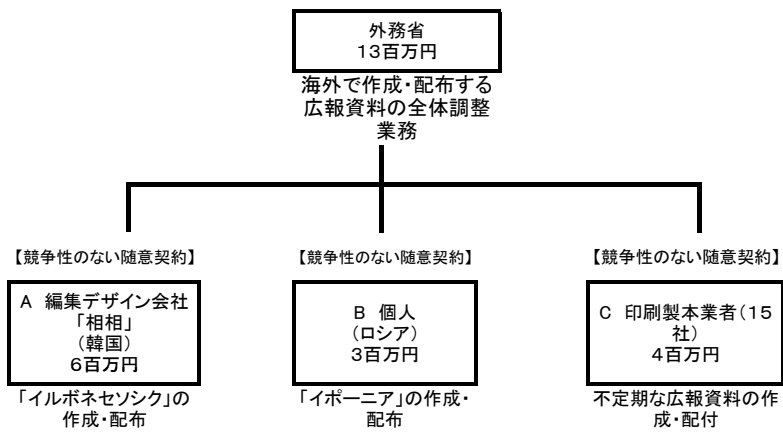


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日本事情発信資料の作成(在外公館)	担当部局庁	広報文化交流部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度		担当課室	総合計画課	課長 小野 日子				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅲ-1 海外広報, 文化交流					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条 外務省組織令第3条及び第26条	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の二国間関係上重要なロシア及び韓国において、広報資料を作成・配布。また、諸外国で不定期に実施される各種広報事業や要人往來の機会を捉えて広報資料を作成・配布する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	在韓国大使館において「イルボネセソシク」(時宜に即した政策広報を中心として、我が国の現状や文化紹介記事等、多岐に亘る情報を掲載)を作成・配布。ロシアにて日本関連資料「イポーニア」を製作・作成し、政府・研究機関やマスコミ関係者に配布する。また、他の在外公館において、二国間の要人往來等を紹介するために発行する不定期広報資料を作成・配布する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	22	19	13	14	13	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	22	19	13	14	13	
	執行額		22	19	13			
執行率(%)		103	100.1	98.3				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	広報資料を通じた対日関心・理解の増進		成果実績		(韓:493,345、露:116,925)	(韓:591,416、露:125,035)	(韓:528,565、露:148,124)	韓:550,000、露:160,000
	在韓国大使館及び在露大使館ホームページのページビュー数(月平均)		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	「イルボネ・セソシク」: 月一回年12回発行 「イポーニア」: 年3回発行 不定期広報誌: 15公館述べ22回発行 計37回発行		活動実績 (当初見込み)	回	45 —	37 —	37 38	— (31)
単位当たりコスト	351,037円/1回発行(200部~5000部)		算出根拠	全執行額12,988,381円を全発行回数37回で除した。				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	「イルボネセソシク」発行費(在韓大)	6,515	6,149					
	日本紹介資料作成費(在ロシア大)	3,204	3,024					
	広報刊行物経費(不定期広報資料発行費)	4,100	3,870					
	計	13,819	13,043					

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	諸外国にとっての日本の第一の顔は各国の在外公館であり、その在外公館が、外国の人々に直接アピールする広報活動は、最も効果が高い。また、ロシアや韓国等、その社会状況から、対日関心に比し日本関連情報が不足しがちであったり、情報の内容が偏りがちな国々において、本事業実施の重要性は高い。また、近年の予算削減の中で、部数の見直し等、経費削減に努めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	単価見直しによる減		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
(縮減)単価見直しによる減			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
●事業仕分け第1弾 事業番号2－52 広報に要する経費 ・WGの評価結果 予算要求の縮減(2～3割を縮減) (廃止 0名 自治体／民間 0名 予算計上見送り 0名 予算要求縮減 13名 :a.半額 4名 b.1/3程度を縮減 2名 c.その他 7名 予算要求通り 1名) ・とりまとめコメント 全14人のうち、予算要求縮減が13人。そのうち半額が4人、1/3程度縮減が2人、その他のご意見には1割縮減や2割縮減もあった。とりまとめ役の結論として、2割から3割の予算の縮減を求めたい。 今回の議論を通して、広報誌の買い上げについての意見が多数語られた。民間の出版社の発行する雑誌の買い上げ・配布がそもそも国費で長い間続けられ、これからもさらに実施していくべきか議論が集中したが、広報誌の買い上げは廃止とさせてもらう。 先ほど、副大臣から発言があったが、広報全体の戦略を見直すことが必要。予算の縦割りが大変問題だと思う。この点についても、期限を決めて、なるべく早めに戦略を立て直す、見直すということを求めたい。			
●(補足) 諸外国にとっての日本の第一の顔は各国の在外公館であり、その在外公館が、外国の人々に直接アピールする広報活動は、最も効果が高い。また、ロシアや韓国等、その社会状況から、対日関心に比し日本関連情報が不足しがちであったり、情報の内容が偏りがちな国々において、本事業実施の重要性は高い。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.編集デザイン会社「相相」			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	印刷・製本費	紙代, 印刷代, 製本代	4			
	デザイン費	デザイン企画	1			
	計		5	計		0
	B.個人			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	印刷費	印刷、製本	1			
	通信・交通費	通信費, 交通費	1			
	人件費	編集者への謝礼等	1			
	計		3	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	「相相」(韓国)	「イルボネセソシク」の作成・配布	6	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(ロシア)	「イポーニア」の作成・配布	3	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ドイツ大	不定期な広報資料の作成・配付	0.6	随意契約	
2	ニュージーランド大	不定期な広報資料の作成・配付	0.5	随意契約	
3	イラン大	不定期な広報資料の作成・配付	0.4	随意契約	
4	クウェート大	不定期な広報資料の作成・配付	0.3	随意契約	
5	チェコ大	不定期な広報資料の作成・配付	0.3	随意契約	
6	チリ大	不定期な広報資料の作成・配付	0.3	随意契約	
7	ロシア大	不定期な広報資料の作成・配付	0.3	随意契約	
8	トリニダード・トバゴ大	不定期な広報資料の作成・配付	0.2	随意契約	
9	キルギス大	不定期な広報資料の作成・配付	0.2	随意契約	
10	ケニア大	不定期な広報資料の作成・配付	0.2	随意契約	